

## 次期愛知県スポーツ推進計画について

### 1 背景

- スポーツ基本法に基づき、2013年3月に策定した現行の地方スポーツ推進計画（「いきいきあいち スポーツプラン」）の計画期間が2023年3月に終了するため、**国の第3期スポーツ基本計画**（2022年3月策定、計画期間：2022年度～2026年度の5年間）を参酌し、**次期スポーツ推進計画**（計画期間：2023年度～2027年度の5年間）を策定。
- 2022年2月に開催した審議会において、**次期計画の策定について**諮問。

### 2 検討体制

- **愛知県スポーツ推進審議会のもとに策定委員会を設置し、次期計画の策定に向けた検討を推進。**

#### <策定委員会について>

座長：中京大学スポーツ科学部 来田享子教授

構成員：13名 学識経験者（分野：スポーツ科学、スポーツ政策、地域活性化、共生社会の実現等）、県スポーツ協会、県スポーツ推進委員連絡協議会、県高等学校体育連盟、県中小学校体育連盟、名古屋グランパスエイト、県商工会議所連合会、県社会福祉協議会

ワザバー：名古屋市スポーツ市民局スポーツ戦略室

事務局：スポーツ局スポーツ振興課、保健医療局健康対策課、観光コンベンション局観光振興課、教育委員会事務局保健体育課

#### <主な議題>

【第1回】：現行計画のフォローアップ、 【第2回】：次期計画の骨子案、 【第3回】：次期計画の素案、 【第4回】：次期計画の答申案

### 3 検討経緯

- 9月に開催した審議会において**次期計画の骨子を決定後、骨子についてパブリック・コメントや市町村・各競技団体に対する意見照会**を実施。
- 提出された意見を踏まえて作成した**次期計画の素案・答申案**について、**策定委員会**において議論。並行して、**スポーツ関係団体に対するヒアリング**を実施。

2021年度			2022年度										
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
審議会 (諮問) 2/16		策定委員会 設置	策定委員会における検討 →				審議会 (骨子案) 9/12	パブリック・コメント ・各競技団体 見照会		策定委員会における検討 →			審議会 (答申) 2/20
			第1回 5/26			第2回 8/3			第3回 11/14	関係団体 ヒアリング		第4回 1/17	

# 次期愛知県スポーツ推進計画（仮称） 答申の概要

## 策定に当たっての視点

### 1 今後の社会経済の展望

- 本県の人口は、2020年頃をピークに減少すると見込まれており、年少人口や生産年齢人口が減少を続ける一方、老年人口は増加し、中でも75歳以上の人口が増加していく
- 雇用面では、生涯現役で多様な労働参加・社会参加が進むと見込まれる
- 経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える「ウェルビーイング」が重視され、その向上が求められる
- 技術革新が一層進展し、Society5.0時代が到来。幅広い産業構造の変革に加え、人々の働き方やライフスタイルが変化していく
- アジアをはじめとする新興国が急速に経済成長し、アジアも世界経済の中心的役割を担うこととなる

### 2 今後の主なスポーツ関連の動き

2023年	第19回アジア競技大会、第4回アジアパラ競技大会の開催、休日の学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行の段階的な推進
2024年	パリオリンピック・パラリンピックの開催
2025年	愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）の開業、デフリンピック2025夏季大会の東京での開催
2026年	ミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピック・パラリンピックの開催、名古屋市瑞穂公園陸上競技場の整備、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催
2027年	アジア競技大会・アジアパラ競技大会選手村の後利用事業の推進、ワールドマスターズゲームズ関西の開催
2028年	ロサンゼルスオリンピック・パラリンピックの開催、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催

## 基本理念・目指すべき姿

### 基本理念

**アジア・アジアパラ競技大会を活かし、すべての人がともにスポーツを楽しみ、スポーツの力で豊かで活力ある愛知の実現**

### 目指すべき姿

すべての人が生涯にわたりスポーツに関わり、スポーツにより人と人とがつながる愛知

世界で活躍するトップアスリートを継続的に輩出し、夢や感動を分かち合う愛知

スポーツを通じて世界から人を呼び込み、交流を生み出し、持続的に成長する愛知



スポーツを通じたSDGsへの貢献

### 【目指すべき姿を実現するための成果達成目標】

- ・週1回のスポーツ実施率（成人、障害者）
- ・国際大会に出場する本県ゆかりの競技者数
- ・県が主催するスポーツ大会へのエントリー数、観戦者数

## 施策の体系と具体的な取組の展開

### I 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出

#### <施策の方向性と具体的な取組>

##### ◆スポーツ人口の裾野拡大

- ・ SNS等を活用した情報発信
- ・ 親子で楽しめるスポーツ機会の創出
- ・ あいち健康マイレージ事業の推進
- ・ 企業と連携した健康づくり支援
- ・ 高齢者の生きがいづくり支援

##### ◆障害者スポーツの推進

- ・ 地域や大学、企業との連携や指導者・支援者の確保・育成等を通じた体制整備
- ・ 身近な地域でスポーツに関わる機会の創出
- ・ スポーツによる障害者と地域住民との交流促進

##### ◆地域のスポーツ環境の充実

- ・ スポーツ施設の整備・充実
- ・ クラブの質的向上に向けた「登録・認証制度」の活用
- ・ スポーツ推進委員の資質向上・活動促進

など

### II 子どものスポーツ活動の充実

#### <施策の方向性と具体的な取組>

##### ◆児童生徒の体力の向上

- ・ 日頃の身体活動の充実
- ・ 運動・スポーツに対する興味・関心の喚起
- ・ 子どもの体力向上に向けた取組の推進

##### ◆学校体育・スポーツの充実

- ・ 研修などによる教員の指導力向上
- ・ 地域の指導者・団体の活用など指導体制の充実
- ・ 特別支援学校との連携
- ・ 学校体育施設・設備等の安全管理の推進

##### ◆多様なニーズに応じた運動部活動の推進

- ・ 地域のスポーツ資源を活用した指導の充実
- ・ 部活動指導員等の確保
- ・ 持続的な運動部活動の推進
- ・ 複数の移行パターンの構築による運動部活動の地域移行の推進

### III トップアスリートの育成、活躍支援

#### <施策の方向性と具体的な取組>

##### ◆トップアスリート・パラアスリートの発掘・育成

- ・ あいちトップアスリートアカデミーにおける地元出身選手の発掘・育成
- ・ 大学との連携に基づく取組の推進
- ・ スポーツ医・科学に基づく支援体制の充実

##### ◆トップアスリート・パラアスリートの強化・活用

- ・ 県強化指定選手への支援
- ・ アスリートのキャリア形成に向けた支援
- ・ トップレベルの選手・指導者との交流機会の創出

##### ◆国民体育大会への選手派遣等

- ・ 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会などへの選手派遣
- ・ 国民体育大会等に向けた県代表選手の競技力向上
- ・ 大会運営能力の向上
- ・ スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上

など

### IV アジア・アジアパラ競技大会の開催、レガシー創出

#### <施策の方向性と具体的な取組>

##### ◆開催に向けた取組・機運の醸成

- ・ 競技会場・選手村等の整備
- ・ テスト大会等を通じた開催機運の醸成
- ・ 大会ボランティアの確保・育成
- ・ 大会の広報・PRの推進
- ・ 大会を通じたSDGsへの貢献

##### ◆大会を活用した地域活性化

- ・ 地域に根差したスポーツの推進
- ・ 選手村後利用事業の推進
- ・ アジア各国との交流の推進
- ・ 大会における「Made in AICHI」のショーケース化
- ・ 来訪者の受入環境の整備
- ・ 大会PRと併せた愛知・名古屋の魅力発信

##### ◆共生社会の実現への貢献

- ・ 多様性への理解促進
- ・ 競技会場等におけるユニバーサルデザインの推進
- ・ 外国人県民との相互理解の促進

など

### V スポーツによる地域活性化

#### <施策の方向性と具体的な取組>

##### ◆全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成

- ・ あいちスポーツコミッションによるスポーツ大会の招致・育成
- ・ スポーツ大会の魅力向上、大会を活かした情報発信
- ・ 様々な地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
- ・ 観光施策と連携した県内周遊性や来訪者の満足度向上

##### ◆スポーツの成長産業化

- ・ スタジアム・アリーナの整備、賑わい創出
- ・ デジタル技術を用いたスポーツの新たな価値の創出
- ・ スポーツオープンイノベーションの推進

##### ◆スポーツチームとの連携・協働

- ・ チームの知名度・発信力を活かした社会課題への貢献
- ・ 選手との交流や「みる」スポーツ機会の創出

#### 主な進捗管理目標

主な進捗管理目標	
I	・ あいちパラスポーツサポーターの養成人数
	・ 登録・認証制度における登録クラブ数
II	・ 新体力テストの総合評価がC以上である児童・生徒の割合
	・ 運動部活動における外部指導者の活用数
III	・ あいちトップアスリートアカデミーに係る選考会への参加者数
	・ 競技運営人材の強化育成に取り組む団体数
IV	・ 大会に参加するボランティア数
	・ 大会に関連したアジア各国との交流件数
V	・ 観光レクリエーション資源・施設利用者数
	・ スポーツイベント等におけるあいちスポーツコミッションとプロスポーツチーム等の連携取組数